

市場のグリーン化に関連する取組

滋賀県

県としての取組

グリーン購入

滋賀グリーン購入ネットワーク(1999年設立、会員:企業391、行政22、非営利団体32)
<活動の概要>

情報提供事業: ホームページ、ニュースレター、メールマガジン、パンフレット

普及促進事業: 講演会、学習会、展示会、出前講座、交流セミナー

研究推進事業: 食のグリーン購入研究会、グリーン購入評価手法研究会など

リサイクル製品認定

2005年制度化(ピワクルエコシップ)、現在176製品を認定

地域でのリサイクル製品にかかるエコマーク

主に県内で発生する循環資源を利用し、県内において製造加工される製品

県は普及啓発、率先利用、利用推奨を図る

事業者活動評価制度

「滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例」で
低炭素社会づくりに向けた事業活動に係る計画等の届出制度を導入

県内環境産業の低炭素社会への貢献が見える化

低炭素社会構築に資する事業活動(環境製品の製造・普及等)の評価



関西広域連合としての検討事項

エコポイント事業

概要

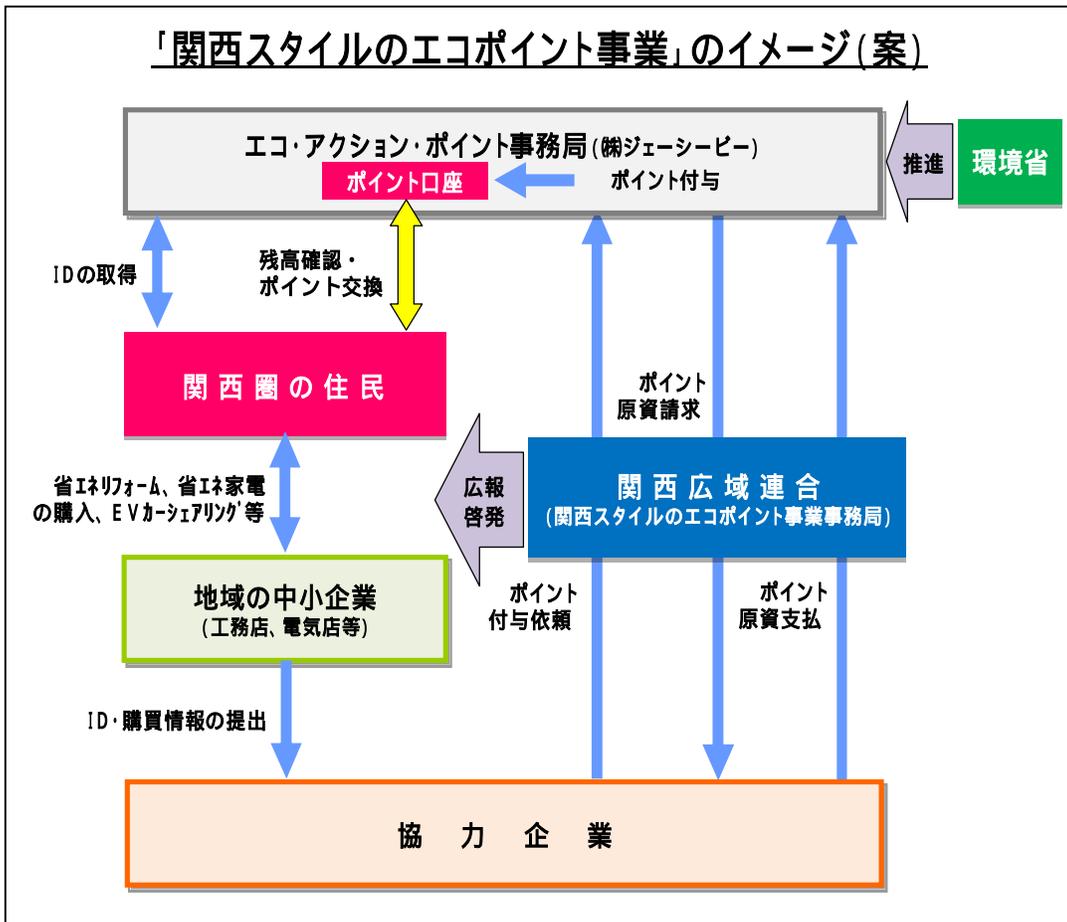
住民の環境行動(エコアクション)に対してポイントを発行する事業を試行的に実施して検証・評価を行い、関西スタイルの事業制度を検討する。

課題

自立したシステムの構築
関西スタイルの明確化

検討事項

関西広域連合の役割(企業・利用者の開拓、広報・啓発など)
関西らしさ(システム、エコアクション、メリットなど)



クレジット事業

概要

府県独自認証の森林吸収を中心とするクレジットの関西広域での活用について、クレジットの対象と類型をはじめ、信頼性や透明性、第三者認証等、そのあり方について調査検討する。

課題

クレジットの活用条件の整理(府県外産の容認など)
広域活用に向けた方策の検討

検討事項

クレジット創出策・活用先、広域活用のメリット・デメリット・阻害要因
各府県条例上の各種クレジットの扱い方、クレジットの制度・管理のあり方、
情報提供のあり方、関西広域連合と府県の役割のあり方